

令和4年度 5月号

令和5年4月28日発行  
横浜市立東汲沢小学校

## “輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

「私は、私でいいんだ。生きていることって、すばらしい。」

副校長 田邊訓志

「副校長先生、ダンゴ虫。ほら！」

4月下旬のある朝、昇降口で登校するひぐみっ子を迎えていた時のことです。生き物が大好きなある子が、大事そうに手のひらに乗せたダンゴ虫を見せてくれました。

「かわいいね。ひっくり返してごらん。足が何本あるかな。ダンゴ虫はね、人の手のひらだと暑すぎて弱ってしまうから、観察したら元のところに帰してあげてね。ところで、先生はダンゴ虫がたくさんいるところを知っているんだけど、知りたい？」

「知りたい！」

「コンクリートの隅っこで、落ち葉が積もっているところの下にいるんだよ。ダンゴ虫は、コンクリートや落ち葉を食べるからだよ。」

「へー。ありがとう」

私は、ひぐみっ子とこのようなやり取りをよくしています。朝会でも、私が話す機会があると、いつも理科にかかわる話になってしまうのですが、担任の先生から「いつも子どもたちが楽しみにしています」と聞くと、嬉しくなります。ある保護者の方からは、「今年の学校だよりの、にわたりの仲間”うこっけい”の話の続き（人工ふ化に成功した話）が早く知りたいです。」というお声もいただきました。

自分は生き物が大好きで、幼少の頃より試行錯誤しながら生き物と付き合ってきました。その中で、自分の興味で飼った生き物が死んでしまったこともたくさんありましたし、学校の授業や課題研究で生き物の命を取ったこともたくさんあります。うこっけいをパートナーとして飼いながら、同時に鶏肉を食べています。このことから、「人間は他の生き物をパートナーとして扱うこともあると同時に、生きるため、もしくは生活するために利用している」ということを学ぶことができました。

さて、学校では、「子どもも、大人と変わらない、一人の人間。ひとりの人格として尊重する」いわゆる「人権を基盤とした教育」が行われています。「一人の子どもを大切に。けっして見落とさない」意識で、学校、保護者、地域、行政で、すまなく子どもとその環境を包み、連携して見守っていくくみを整えています。

ひぐみに来られた方々から聞くのは「ひぐみの子は、とてもすてきな子どもたちですね。」という声です。昨年、私が初めてこの学校に来たときにもそう感じました。ある方は、「家族以外にも、地域や友達の保護者など、たくさんの方にかかわってもらっているからでしょうね」とおっしゃいました。私も「なるほど」と思いました。

「人権を基盤とした教育」は、言い換えると「私は、私でいいんだ。生きていることって、すばらしい。」と、一人ひとりが思える教育です。この教育を、ひぐみでは授業、授業以外の活動、学校行事で、時には地域の方やPTA保護者の方とも連携して、日々行っています。その様子を、この学校だよりの中面の記事や学校ホームページ等で、これからもお伝えしていきたいと思えます。

今日も、子どもたちを、ひぐみ自慢の青空が包んでいます。「一年生を迎える会」は、4年ぶりに体育館に全校児童が集まって行うことができました。今までなかなかできなかったことが、少しずつできるようになってきました。

これからも、ひぐみっ子が、教職員や友達や地域・保護者の皆様など、他者とのかわりを通して、自己の成長を感じ、自分をより好きになることができる取り組みを進めてまいりたいと思えます。どうぞ、よろしく願いいたします。